

『坂中議会』を開催

3年ぶり2回目



小坂中学校の生徒が町の取組や将来について提案し、町長が答える『坂中議会』が11月16日にセパームで開催されました。全校生徒が七つのグループに分かれて調査・分析を行い、このうち四つのグループの代表者が町の施策について質疑を行いました。



池田 静奈さん

問

アカシア大橋にハンジージャンプを設置し、観光客を呼び寄せる目玉にできないか。また、十和田湖周辺に点在するキリストの墓や礼拝堂などを周遊するミステリーツアーを提案したい。

答

ハンジージャンプは、事故の可能性を完全に除けないこと、通行中の町道



であることから、実施は難しいと考えられる。

ツアー企画については、旅行エージェントに魅力をアピールする際、町が補足できるのであれば検討したい。



安保 大和さん

問

コンパクトシティを目指し、町全体が一つの集落のように暮らせるよう、町の中心部に「高齢者特区」を設けてはどうか。また、実施する際の課題も伺いたい。

答

「あかしあの郷」や「ケアハウスわかば」等、近年は町の中心部に高齢者に必要な施設を整備してきたところである。

課題としては、建設コスト、用地や人材の確保などが挙げられる。福祉系大学や短大、専門学校等に要望活動を行ったり、働きながら資格取得を目指したりする方への支援を進めていく予定である。

町長

真剣に協議してもらい、感謝申し上げます。頂いた提案は、どうすれば実施できるか、という観点で検討していきたい。

問

金丸 典加さん



佐々木紅葉さん

秋田県のハチミツ生産量は全国三位であり、なかでも小坂町は県内ナンバーワンとなっている。全国一位を目標に、中学生の養蜂体験活動、養蜂家の移住事業、新メニューの開発を実施してはどうか。

答

養蜂に限らず、農業分野は担い手不足が深刻で、体験を通して関心を持ってもらうことは大切である。

なお養蜂家は、蜜源の開花時期に合わせ、全国で移動を繰り返すことを常としているため、移住には課題が生じると考えている。
新たな商品開発については、今後も各分野に呼びかけ、中学生の皆さんの提案も拝聴したい。

問

吉田 凜さん



町民の交流を活発にするため、託児サービスがあるイベントや、全世代が参加し語り合える場を設けたり、クリスマスマーケットで街路樹を電飾するイルミネーションストーリーにしたりしてはどうか。

また、世代によって助成の手厚さに差があるため、高校生への通学支援等を行うてはどうか。

答

各種イベントについては、見直しを図る必要があると感じている。町主催のもの以外でも、できる限り協力していきたい。

高校生への助成は、令和六年度の統合校開設に向け、交通費支援が最も有効と考える。
今年度のクリスマスマーケットは、イルミネーションのみの予定。少しづつ拡充を検討していきたい。

